

山直中学校サッカー部 指導方針

- ◎ サッカーを好きになり、生涯を通じてサッカーに親しもう。
- ◎ 3年間を通してサッカーの基本的技術、戦術を身につけよう
- ◎ 挨拶、言葉遣いなどの礼儀作法を学び、社会人としてマナーを身につけよう
- ◎ 自ら考え、自ら前向きに努力できる人間になろう。
- ◎ 自分たちで考え、自分でうまくなる、みんなでうまくなろう。

～5年後・10年後のために～

子どもたちのサッカーは、3年間だけでは終わりません。子どもたちの人生は3年では終わりません。中学校生活3年間を過ごしたあとの期間の方が長く、そして険しいものへとなっていきます。目の前の試合の勝ちにこだわるだけでなく、人間的な成長や技術的向上など長期的な視点を持ち、5年後・10年後のために今、何をすべきかを考え、指導していきます。



山直中サッカー部では個の育成を大切にしています。また、指導者は「待つこと」を指導テーマにしています。サッカーだけに関わらず、指導しているとどうしてもあれもこれもいろんなことを教え、できるようになってほしくなります。(全習法)ただ、発達段階の子どもたちはなかなか短期間ですべてのことを習得することが難しく、あれもこれも要求する中でどれも中途半端になってしまう可能性があります。

山直中学校は『ドリブル』を指導の中心にしています。自分で自由自在にボールをコントロールすることでプレーの幅が広がり、魅力的なサッカーにつながります。サッカーは状況判断のスポーツなのでボール以外のもの(味方、相手、スペース、ゴール)を観て、プレーを選択することになります。その時にボールばかり見ているようでは、判断はできません。パスをするために、面白いサッカーをするためにドリブルを大切に考え、指導していきます。

3年間の中で試合に勝つことだけを目的として活動していくとどうしても一番大切な技術、人間的な成長に力を注げなくなります。ただし、勝ちを目指さないということではありません。

「価値」のある「勝ち」を目指します。勝ちを目指す過程を大切にしています。今は体格的にも小さく、身体能力にも差があります。ただ、その差は発育・発達によりその差は年を重ねると

